

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	西表東部公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	西表東部地区に公園を整備し地域住民の福祉向上を図るため、遊具施設等の公園整備工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	12,965	61,060	196,000	204,000	
	(b) 予算現額	12,030	52,829	195,917	197,264		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 935	▲ 8,231	▲ 83	▲ 6,736	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	12,030	52,829	195,917	197,264	0	
	B. 執行済額	11,612	52,827	195,917	197,264		
	うち交付金充当額	9,288	42,262	109,523	157,811		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	96.5%	99.9%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	工事入札残額等及び、工事費から委託費への予算流用等の措置などに伴い減額を行った。事業内容を遂行するため適切な予算措置であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	公園整備基本設計作成	目標	(作成実施)	()	()	()	
		実績	作成実施				
	公園整備実施設計作成及び用地取得業務を実施	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
公園整備工事、トイレ(追加分)設計の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)		
	実績			実施	実施		
達成状況説明	本年度予定していた公園整備工事、トイレ(追加分)設計を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	公園整備工事の完了	目標	()	(実施設計完了)	(整備工事の完了)	(整備工事の完了)	()
		実績		実施設計等完了	整備工事の完了	整備工事の完了	
	【R4成果目標】施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	本年度予定していた公園整備工事を完了した。令和3年度も整備工事を行う。						

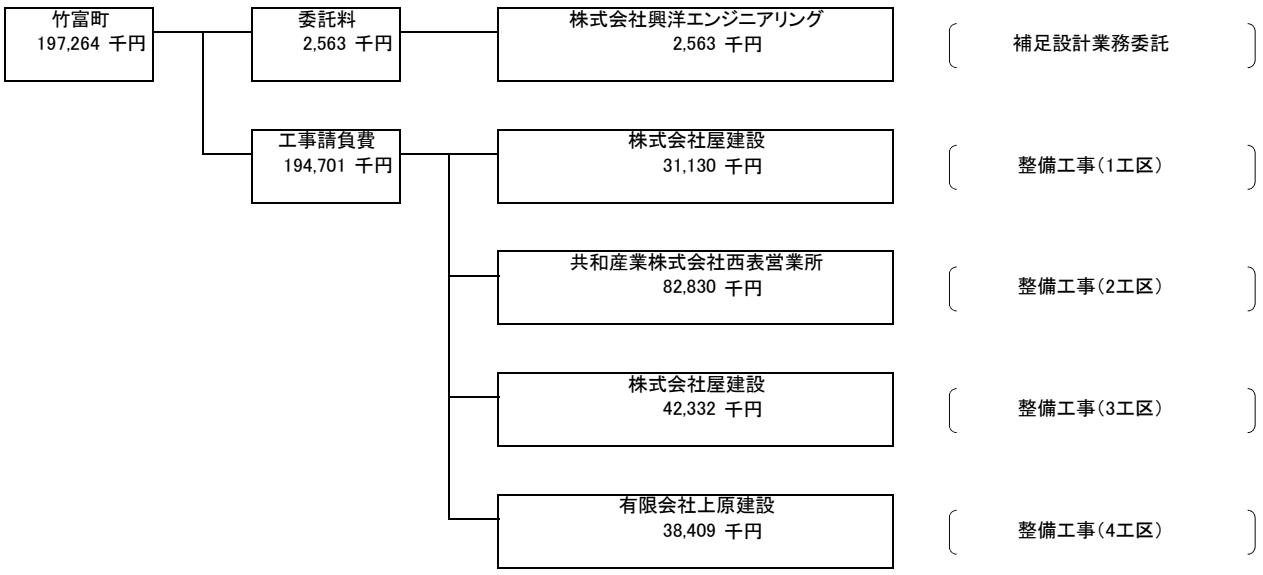
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	公園に隣接する原野から野生動物(イノシシ等)の侵入があり今後、施設の維持管理に課題がある。	公園の安全面を考慮し、野生動物の侵入対策として猪垣フェンスやハブ返し等の設置の必要がある。

今後の取り組み方針

令和4年度の全面供用開始に向けて、令和3年度において、野生動物の侵入対策として猪垣フェンスやハブ返し等の設置に係る補足設計及び設置工事等の公園整備を図り、児童ら利用者が野生動物の被害から安心・安全に利用できるように公園整備に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
197,264	197,264	157,811	39,453	0



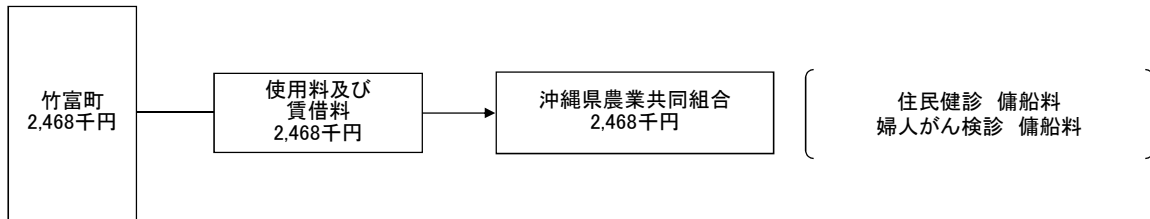
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は見積比較を行った随意契約、工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用は発生しておらず、予算規模は適正な規模であった。 ○費目、用途については完了段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	健康診査用機材搬送事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,840	3,894	3,900	3,900	3,900
			3,892	3,705	3,696	3,797	2,468
			52	▲ 189	▲ 204	▲ 103	▲ 1,432
			0	0	0	0	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額		3,892	3,412	3,696	3,797	2,468
			3,113	2,729	2,956	3,037	1,974
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	92.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症流行懸念により、胃がん集団検診が中止となった為、予算減額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	検診機材搬送年3回実施(検診3回×5島6地区=18件)		目標 (18件)	(18件)	(18件)	(12件)	
			実績 18件	18件	18件	12件	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診、婦人がん検診実施時に、石垣島より町内各島を經由し検診機材を貨物船を備船して運搬した。 ・前述のとおり、胃がん集団健診は中止となったことにより、実績件数が減じた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(26年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	集団検診受診者数		目標 (1645名)	(2134名)	(2091名)	()	()
			実績	1462名	1713名		
	特定健診対象者の受診率 60% 婦人がん(子宮頸がん)健診対象者の受診率 31.5%		目標 ()	()	()	(60% 31.5%)	()
		実績			48.1% 38.9%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より目標が、特定健診・婦人がん検診・胃がん検診の受診率へ変更された。 ・胃がん集団健診は、新型コロナウイルス感染症流行懸念により中止となったが、事業実施により、多数の各島住民が集団健診を受けることができ、健康増進及び経済的負担を減らすことができた。 ・特定健診受診率が48.1%、婦人がん検診受診率38.9%であり、一部の目標が達成できなかった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率が48.1%と目標を大きく下回る結果となってしまったが、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念により受診を控える住民がいたと考えている。 ・婦人がん(乳がん)検診の受診率は、38.9%で、こちらは大きく上回る結果となった。 ・胃がん集団健診は中止となった為、令和2年度目標からは削除となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より変更された目標であるが、目標と対象者が明確である為効率の向上が期待できる。 ・より多くの地域住民への受診機会提供に向けて、検診実施日の効果的な周知方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からは、住民健診・特定健診の実施と胃がん集団健診の実施が同時実施となる。これにより受診率の向上が期待できる。 ・婦人がん検診については、令和3年度は子宮頸がん集団検診となる。乳がん検診に比べて受診希望者が少ない傾向にあるため、公式SNS、広報誌、防災無線を用いた周知徹底に努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,468	2,468	1,974	494	0



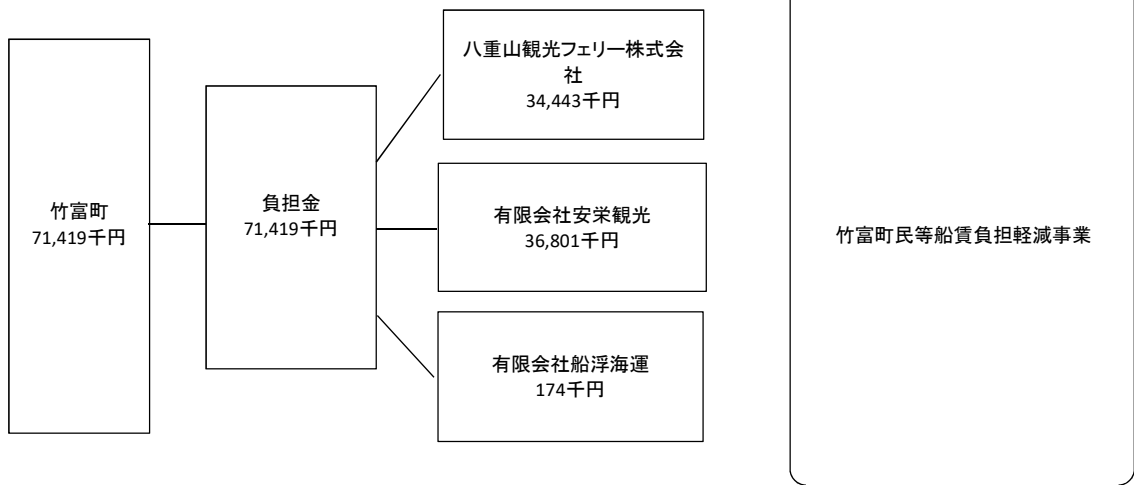
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○備船契約にあたっては、検診車両を積載可能な船舶を所有する全ての事業者(3者)に見積依頼を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○集団健診事業の一つが中止となったが、予算規模は適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途は検査により確認されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	竹富町民等船賃負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	政策推進課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減するとともに、生活の利便性を確保する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b)予算現額	88,638	104,724	114,609	105,845	100,834
		(c)増減額(b-a)	108,696	114,244	114,609	86,645	71,419
		(d)繰越額	20,058	9,520	0	▲19,200	▲29,415
	A.計(b+d)	108,696	114,244	114,609	86,645	71,419	
	B.執行済額	93,573	96,777	89,584	86,645	71,419	
	うち交付金充当額	74,858	77,421	71,667	69,316	57,135	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	86.1%	84.7%	78.2%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	2月末までを交付対象とし、3月分は単費で対応している。年度途中のR2年9月、R3年2月に今後の乗船者数を見込んだ上で予算の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	船賃の一部負担	目標	(船賃の一部支援)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	
		実績	船賃の一部支援	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町民の生活に欠かせない高速船での移動の際に係る船賃の一部を負担することにより、交通費の負担軽減及び生活の利便性が高まった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		90.5%	98%	92%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	利用者へのアンケートで、船の利便性が確保されたかを含め事業の在り方を検証した。結果、船賃負担が軽減されているとの回答が92%、本事業の継続希望が96%となり、利便性が確保されていることが明らかになった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により対象航路の減便等の対策が行われていたが、利用者が減少した。 R2年5月より燃油サーチャージ料金撤廃に伴い、船賃の値下げが行われた。 QRコードを活用したシステム機能を拡張し、円滑なチケット購入が可能となったが、QRコード読み取りエラーなどのトラブルも発生し、アンケートでの満足度が前年度よりも下がったと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードを活用したチケット購入にエラーが発生しないよう、スムーズに行われるように体制を図る。また、新たな交通モビリティサービスなどを取り入れ、更なる利便性向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>QRコードを活用したチケット購入システムにエラーが発生していた為、スムーズなチケット販売ができなかったことから住民へのアンケート調査にて前年度より低い回答となった。今後は、住民の方がスムーズにチケット購入が行えるように、QRコード読み取りエラーの発生を防げるようにシステム改修を実施する。また、更なる利便性の向上を図るため、アンケート調査を実施し、利用者の乗船動向や要望等を把握する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
71,419	71,419	57,135	14,284	0

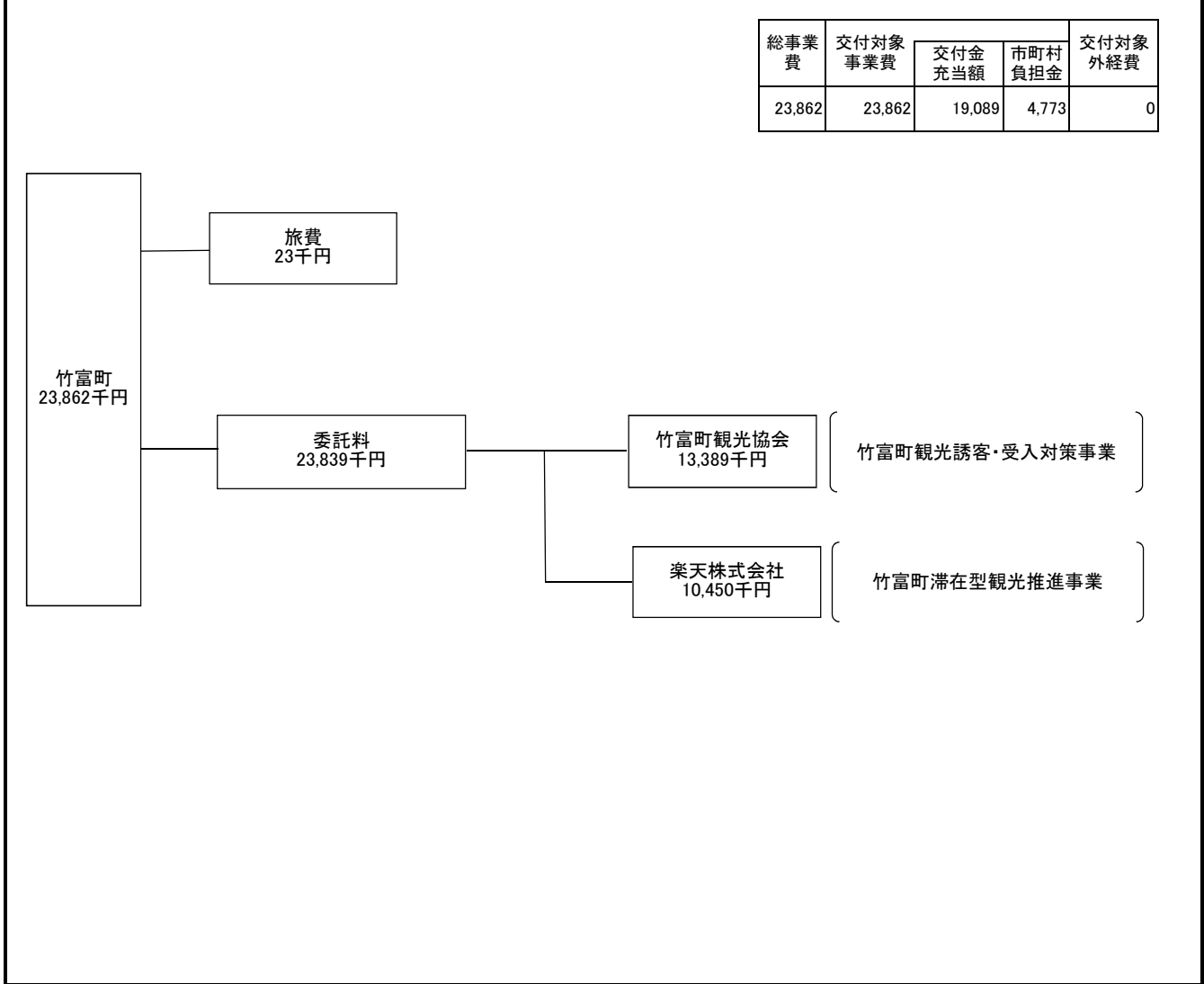


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中に実績額を元に予算を見込み、不用が生じていないことから、予算規模は適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○料金設定をJR料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	竹富町観光誘客・受入対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	世界遺産推進室	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本町の滞在型観光の促進を目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制の強化・整備を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		46,058	57,026	47,259	49,877	31,731
			44,307	48,753	47,259	48,006	23,862
			▲ 1,751	▲ 8,273	0	▲ 1,871	▲ 7,869
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額 うち交付金充当額		44,306	48,689	46,402	48,006	23,862
			35,444	38,951	37,121	38,404	19,089
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%	98.2%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により、「小浜島観光受入支援事業」の取り下げと誘客活動が実施できなかったため、年度内でそれに係る事業費の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	誘客宣伝活動	目標	(誘客宣伝活動5回)	(誘客宣伝活動5回)	(誘客宣伝活動2回)	(誘客宣伝活動1回)	
		実績	誘客宣伝活動5回	誘客宣伝活動4回	誘客宣伝活動2回	誘客宣伝活動0回	
	ポイントシステムの整備・充実	目標	()	()	(整備・充実)	(会員獲得)	
		実績			整備・充実	会員獲得	
	滞在型観光推進ポータルサイト構築	目標	()	()	(サイト構築)	(サイト拡充)	
実績				サイト構築	サイト拡充		
観光人材育成講習会	目標	()	()	(3回実施)	(5回実施)		
	実績			3回実施	5回実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・誘客宣伝活動は、県外での活動を予定していたが、全国の感染状況を鑑み見送った。 ・ポイントカードシステムではカード会員や加盟店加入の勧誘を行い、新規会員の獲得を図った。 ・ポータルサイト構築では、受入側の滞在型観光に対する思いやヒストリーを追加し、サイトの拡充を図った。 ・人材育成では、毎回違う講師を呼び、様々な角度から星空ガイドに関する知識やおもてなしを学んだ。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	入域観光客数	目標	()	(1,089,206)	(1,049,927)	()	()
		実績			1,045,271	1,026,590	
	観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度(「非常に満足」:60%)を達成することを指標とする。	目標	()	()	(58%)	(60%)	()
		実績			90.3%	79.7%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによるアンケートを行い、訪れた観光客の満足度(非常に満足)は、79.7%となり、目標を達成した。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標が達成できた要因としては、本町の自然を活用したアクティビティメニューとコロナ禍で密を避ける、自然に癒しを求める、といった需要がマッチしたこと、質の高いガイドによるものと考えられる。前年度より満足度の数値が低い要因としては、感染症拡大による観光客自身の行動の制限や受入側のサービスの縮小等が考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> もともと入域観光客数は減少傾向にあり、要因として離島巡りなどの日帰り周遊型観光から滞在型・着地型観光へのシフトが考えられていたが、今年度は世界的な感染症拡大の影響による大幅な減少であった。 2021年7月の世界自然遺産登録後において、これまでの人流との変化が予想されるが、コロナ禍での登録及びオリンピック開催といまだ経験のない事例が重なり、客層を含めた人流の予測が難しい。 ポイントカードシステムのデータの活用ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度の確保維持のため、引き続きガイドの人材育成を行う。 減少している観光客を一気に呼び戻すような誘客ではなく、「量より質」の観点から滞在型・着地型観光の推進や自然環境保全、感染症対策を意識した誘客宣伝活動に取り組む必要がある。また、徐々に観光客を呼び戻すことで、船内や各施設での密を避けることにも繋がる。 ポイントカードの会員の新規獲得及び既存の会員情報を活用した広報、情報提供に取り組む。 世界自然遺産登録に伴い、西表島のみならず観光客が集中しないよう、各島の特性に合った観光メニューの創出を行う。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 国内初の星空保護区にも認定された町内の星空を観光資源として活かすため、引き続き星空ガイドの人材育成や陸域ガイドの人材育成(別事業)を行い、ガイドの自然環境意識、安全意識を高め、質の向上に努める。 誘客活動においては、滞在型・着地型観光の魅力発信を柱に、世界自然遺産登録地として、自然環境保全も意識した誘客宣伝活動を実施し、「来る側」と「受け入れる側」、双方からの質の向上を図る。 ポイントカードシステムのメリットや仕組みをわかりやすく伝えることで会員の新規獲得を促進する。また、既存の会員情報を有効活用した会員ならではの情報提供を行い、顧客との繋がりを持つ。 地域の意見を取り入れ、各島の特性、魅力、受入体制に合った観光メニュー創出を図る。 令和2年度から令和3年度へ延期となっていた滞在型観光の満足度や滞在日数把握のための調査を行い、令和4年度以降の観光施策へ活かす。(別事業) 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



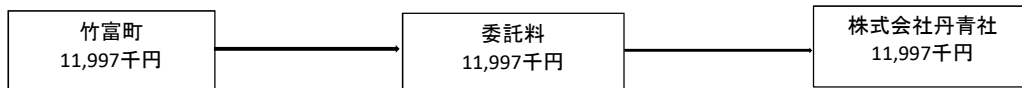
資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○竹富町観光協会については、町内の観光情勢を熟知していることや町内の事業者との繋がり、また中立的な立場で事業を行えることを総合的に勘案し業務を委託できることから随意契約とした。その他の委託先については、プロポーザル方式で選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行状況に応じて適切に予算の補正を行ったことから、適正な予算規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○完了報告時に、費目や使途を検査し、目的に即したものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	1-(4)-エ			
担当部署名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流			
事業内容	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上を図る為、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設の基本構想を策定する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額					12,000	
		(b) 予算現額						11,997
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0		▲ 3
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	0	0	0	0		11,997
	B. 執行済額							11,997
	うち交付金充当額							9,597
	次年度繰越額							0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
	予算の状況の説明		事業の執行にあたっては、事業の目的を達成するため、業務内容を十分に理解し専門性と実績等を有する事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し株式会社丹青社に決定をした。3月12日付で業務完了報告があり、検査した結果、滞りなく遂行され、完了したことを確認した。事業計画通り適正に執行が行えたと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	博物館建設の基礎となる基本構想策定する	目標	()	()	()	(完了)		
		実績				完了		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	計画の策定にあたり、学識経験者・各地区公民館長等からなる基本構想策定委員会計4回を持ち、計画通り年度内に基本構想を策定し、目標を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	博物館建設の基礎となる基本構想策定の完了	目標	()	()	()	基本構想の策定	()	
		実績				基本構想の策定		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	令和3年3月に基本構想を策定し、成果物である基本構想書・基本構想概要版を竹富町教育委員会ホームページで公開した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	基本構想を策定したが、7つの有人島からなる竹富町にしか作ることができない拠点施設にするためには、ハードの課題も残るが、それ以上にソフト面の各地域の人材育成や口伝承の収集が今後大きな課題になってくると考えられる。	令和3年度に継続して作成する基本計画の中でハード・ソフト面ともに詳細を計画していく必要があるが、昔の記録の聞き取りや人材育成については今後の進捗に関わらずできることから取り組んでいく。
今後の取り組み方針		
竹富町文化振興・観光交流拠点施設の建設を目指し、R2年度内に策定した基本構想を基とし、令和3年度により具体的な基本計画を策定し、次年度以降の財源確保、基本・実施設計と繋げ、早い時期の開館を目指す。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,997	11,997	9,597	2,400	0

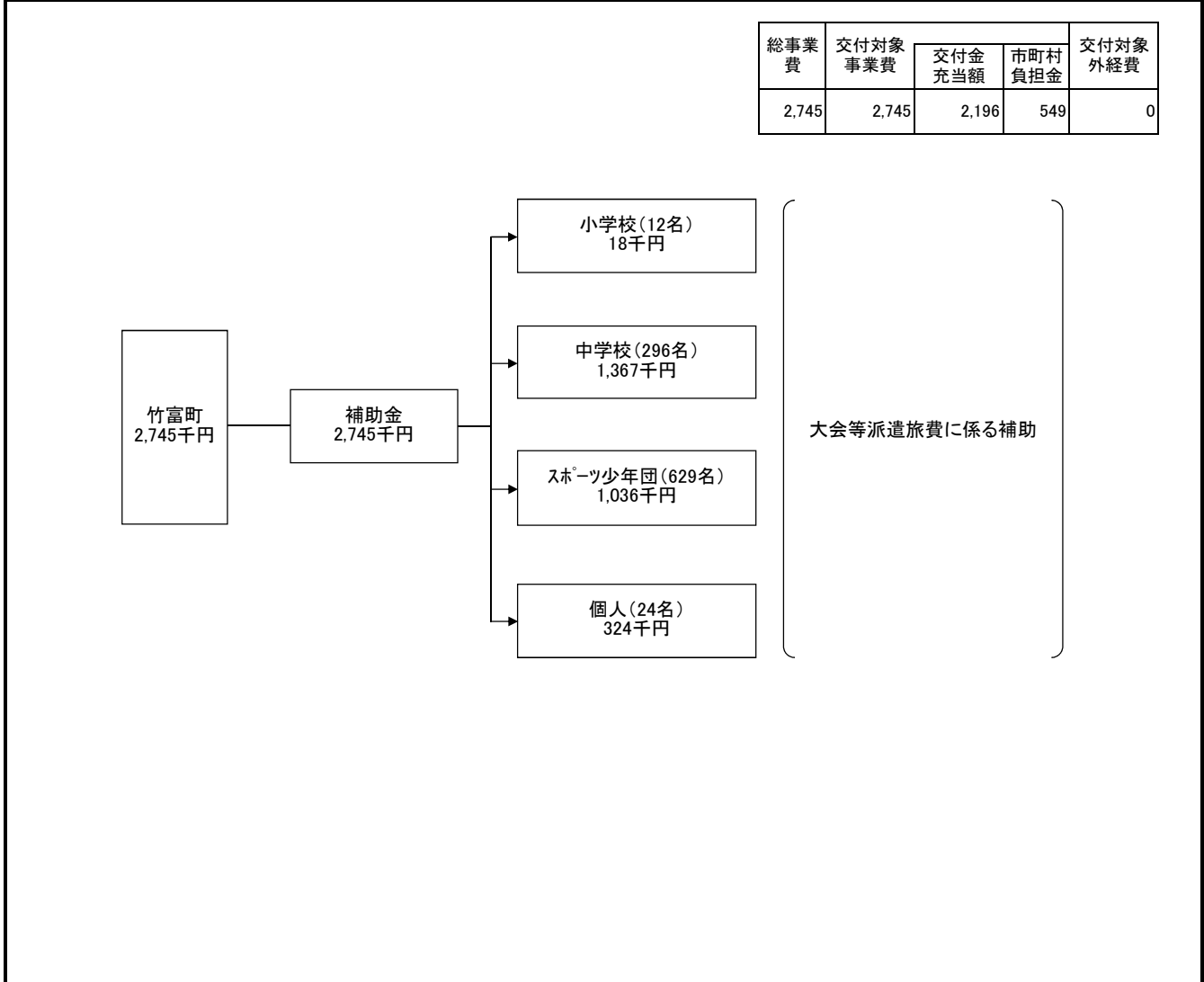


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者は業務内容を十分に理解し、専門性と実績等を有する必要があったため、公募型プロポーザル方式を採用し選定しており、妥当であった。 ・業者見積書を参考に積算を行っており、適正であった。 ・関係は妥当であると考えられる。 ・費目・用途については業務完了報告を受け検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒のスポーツ等競技大会や文化活動コンクールへの町外派遣費を補助することにより費用負担を軽減し、島外の児童生徒との競争や交流の機会を持つことでより広い視野を持ち、竹富町内だけではできない経験をおとして子どもたちの心と体の健やかな育成を促し、離島格差の是正と人材育成に寄与する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b) 予算現額	3,900	3,849	7,074	5,950	7,197
	(c) 増減額(b-a)	3,591	5,983	6,032	4,384	2,745	
	(d) 繰越額	▲ 309	2,134	▲ 1,042	▲ 1,566	▲ 4,452	
	A. 計(b+d)						
	B. 執行済額	3,591	5,983	6,032	4,384	2,745	
	うち交付金充当額	2,835	4,219	5,628	4,384	2,745	
	次年度繰越額	2,267	3,375	4,503	3,507	2,196	
	執行率(%) (B/A)						
	78.9%	70.5%	93.3%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルス影響により中止になった大会が多くあり、当初予算よりも少ない執行額となったものの、最終的には他事業へ流用し不用は生じず、今年度の執行率は100%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	児童生徒派遣人数(単位:名)		目標 (596)	(592)	(570)	(600)	
			実績	652	976	1,254	961
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス影響により延期や中止になった大会が多くあったが、目標人数は達成した。 ・合計人数では前年度より減だが、内訳をみると小学校・中学校(小体連・中体連陸上が中止)は減、スポーツ少年団・個人(延期して実施した大会も多数)は増となっており、学校以外のスポーツ少年団や個人競技の申請者にも事業がよく周知され活用されている。 ・県大会出場や県選抜チームに選ばれた児童生徒もいて、八重山圏域外への派遣にも補助事業が活用された。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
			実績	94%	95.4%	97.8%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・引率した教員や申請した保護者へのアンケート調査結果で「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」との回答が97.8%と高い割合になり目標を達成した。 ・上記アンケートで「その経験により成長することができた」との回答も97.8%と高い割合になり、事業の効果が認められる。 ・保護者の経済的負担の軽減、離島格差の是正につながっているという意見も多く寄せられており、事業の継続が希望されている。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための大会延期や中止が多くあり、当初計画より大幅な予算減額となった。引き続き先が読めない状況が続いており、感染拡大が長引けば今年度も多数の大会の中止が予想される。 ・学校教職員の異動やスポーツ少年団の担当者交代等があると、事務手続きに不慣れだったり補助対象経費の相違があったりすることもある。 ・引率者旅費、現地交通費、練習試合、選抜された選手の地区代表チーム練習など、補助対象拡大の要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の延期や中止等の情報を把握し、きめ細かく事業費を積算し直して必要に応じて減額し、他事業への流用等で有効に活用していく。 ・事業の周知と、対象となる派遣や対象経費及び上限金額、補助金申請から交付までの流れについてのわかりやすい案内を努める。 ・事業の目的に合致するものについては補助対象としてきめ細かく対応できるよう、適宜交付要綱の見直しを検討する必要がある。 	
	今後の取り組み方針		
	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者には大会の延期や中止があった場合には連絡をしていただくようお願いし、不要となった補助金交付申請は取り下げや減額をしていく。また、年度途中に各申請者にヒアリングをしてきめ細かく事業費積算の見直しをしていく。 ・積極的に事業を活用していただけるよう、引き続き補助金の周知に努め、提出書類作成や補助対象についてのわかりやすい案内や問い合わせへのフォローをていねいに行う。町教育委員会ホームページから各申請者ごとの様式をダウンロードできるようにする。 ・追加要望のある児童生徒派遣(特に、選抜された選手の地区代表チーム練習)について、交付要綱の改定により補助対象とすることが可能か検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



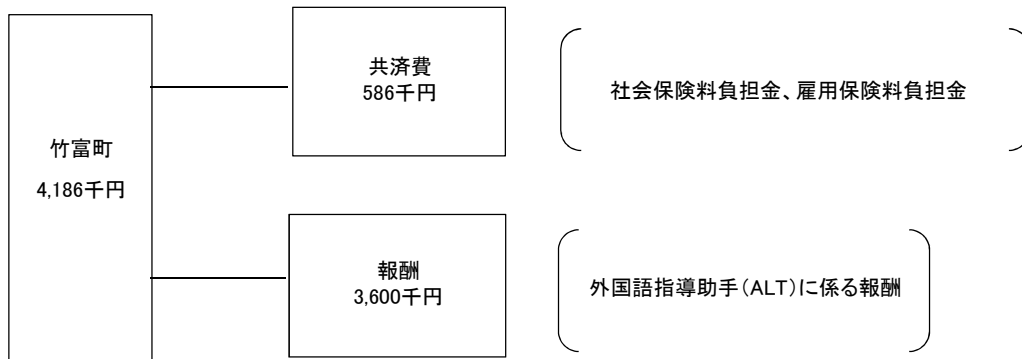
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づく児童生徒としており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者には一部自己負担を求めており、負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	外国語指導助手派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-1	
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b) 予算現額	4503	4,182	4,187	4,180	4,185
		(c) 増減額(b-a)	4181	4,182	4,187	4,018	4,186
		(d) 繰越額	▲ 322	0	0	▲ 162	1
	A. 計(b+d)		-	-	-	-	-
	B. 執行済額		4,181	4,182	4,187	4,018	4,186
	うち交付金充当額		4178	4178	4179	4,018	4,186
	次年度繰越額		3342	3342	3343	3,214	3,349
	執行率(%) (B/A)		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	99.8%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初予算額から共済費の増額に伴い、僅かに増額となったが、事業計画通り執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・外国語指導助手の派遣 小学校6校 幼稚園3園	目標	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣 150回)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣 150回)	
		実績	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 147回	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 154回	
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	竹富町内の小学校6校及び幼稚園3園へ外国語指導助手1名の派遣を実施し、年間で154回の派遣を実施することができた。目標を達成することができ、幼児、児童生徒に対し、生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		57%	77%	79%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	アンケート調査の結果、外国語や外国文化への興味関心が高まったと回答した児童生徒は、79%となり、僅かに目標値には届かなかった。しかし、「外国語をもっと話せるようになりたいか」の問いに対し”あてはまる+”ややあてはまる”と回答した割合、95%と高い数値となった。継続した外国語指導助手の派遣により、H30年度、R1年度より効果が高まってきていると感じる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果において、前年度に比べて実績は増加しているものの、目標値を達成することはできなかった。 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校や、船舶の大幅な減便等の不可抗力的要因で、派遣が制限される期間が生じた。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果を受け止め、子どもたちの外国語に対する興味関心を高めるため、安定した派遣を行うとともに、時代に合った授業内容の改善も検討する必要がある。 4月の休校期間中において、希望する児童に対し、学校や家庭の協力のもと、電話による英会話支援を実施する等、子供たちの学びを止めない取り組みを実施した。今後も休校や船舶の欠航等による派遣中止の際は、ICT機器等を活用し遠隔で授業の実施を行う等の対策を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> これまでの教育実践の蓄積とICTを掛け合わせる等、学習活動の一層の充実と授業改善を図ることで、児童生徒の興味関心を高める新たな取り組みを検討する。 感染症等の影響や、船舶の欠航等で派遣中止となる場合においては、令和2年度に各校へ整備した1人1台端末等のICT機器を活用したオンライン授業を実施する等、安定した教育機会の提供を目指す。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,186	4,186	3,349	837	0

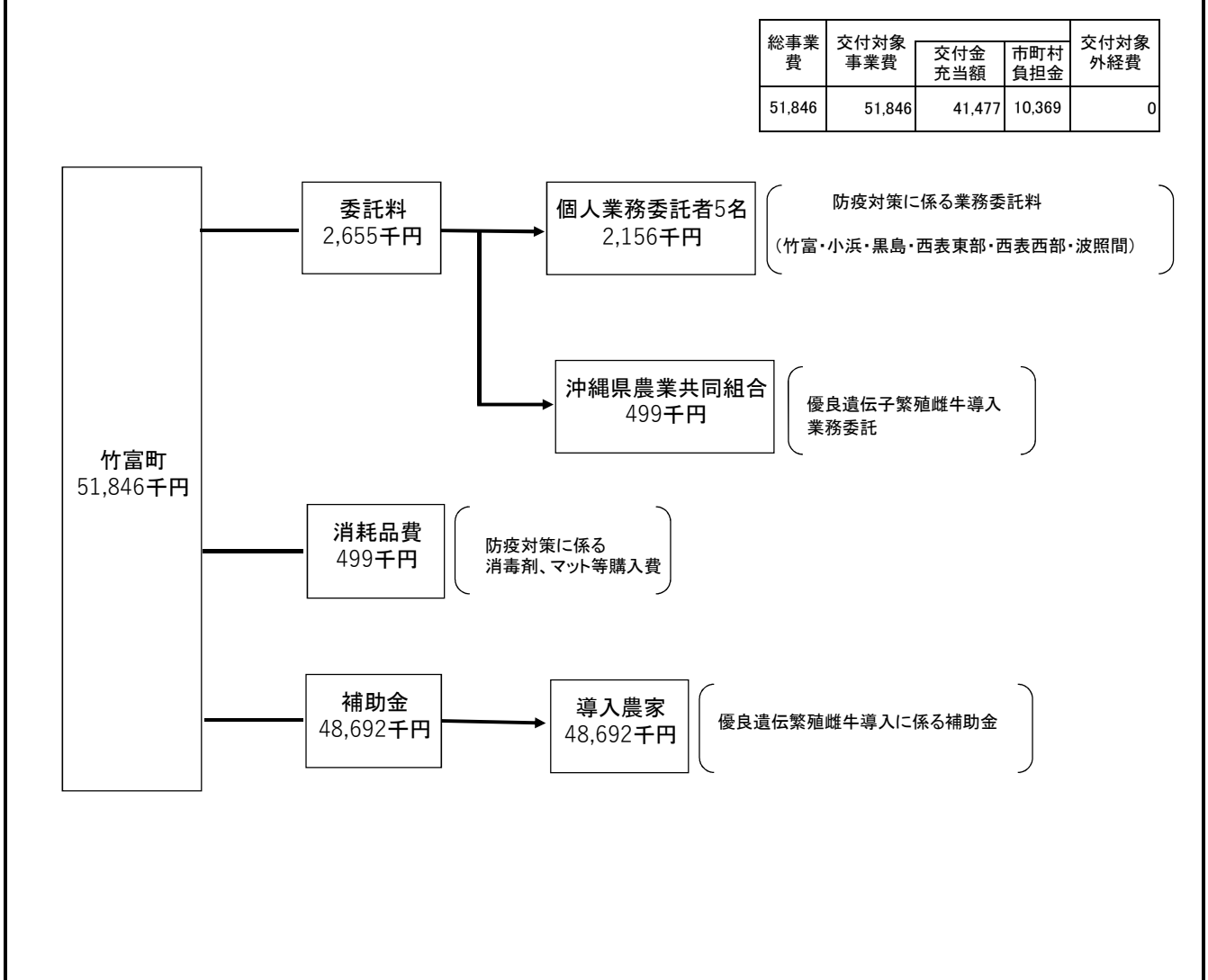


資金の流 使途の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定については、業務に対する熟意や経験を考慮し、選考している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は生じておらず、適正な予算規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、招致外国青年就業規則(JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者)や竹富町職員の旅費支給に関する条例等に基づき支給しており、目的に即し必要なものであったと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以上上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		49,700	47,216	58,616	58,566	58,475	
		49,695	55,322	58,616	53,090	51,846	
		▲ 5	8,106	0	▲ 5,476	▲ 6,629	
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	44,459	50,755	53,448	53,090	51,846	
		35,566	40,604	42,757	42,472	41,477	
		0	0	0	0	0	
		89.5%	91.7%	91.2%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	当初計画を上回る優良母牛を導入(計画90頭、実施104頭)したものの、購入価格や経費の減により、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。					
	活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
離島港湾靴底消毒用マット設置6ヶ所(竹富・小浜・波照間・西表東部・西表西部)		目標 (消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)		
		実績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置		
優良母牛導入支援		目標 (導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)		
		実績	導入助成	導入助成	導入助成		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・町内港湾6箇所に防疫マットを設置したことにより、伝染病等の侵入を防止した。 ・当初導入計画90等に対して104頭の導入支援を実施し、生産基盤の拡大を図った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合		目標 ()	(1.22%以上)	(1.22%以上)	(14.5%以上)	()
			実績	14.45%	7.16%	9.46%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	令和2年度におけるセリ価格において、導入優良母牛から生まれた子牛の平均価格は679,944円(A)、そうでない牛の平均価格は621,163円(B)となり、価格差の割合は109.46%(A/B)で目標に達しなかったが、導入した母牛から生まれた子牛はそうでない子牛との価格差はあり成果はあった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県内で豚熱の発生事例があり、国内でも鳥インフルエンザの流行がみられ、町内での家畜伝性病侵入防止対策の重要性が高まっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、和牛肉の需要低下に伴う仔牛価格の減少が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 防疫マットの設置、消石灰の配布に加え、生産者の防疫意識向上に取り組む必要がある。 仔牛価格の下落を想定し、生産コストを削減するなど、影響を最小限に抑える取組を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝性病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に取り組む。 生産コスト削減に向けて自給飼料率を上げるため、各関係機関と連携し、生産者に対する技術指導等を強化していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

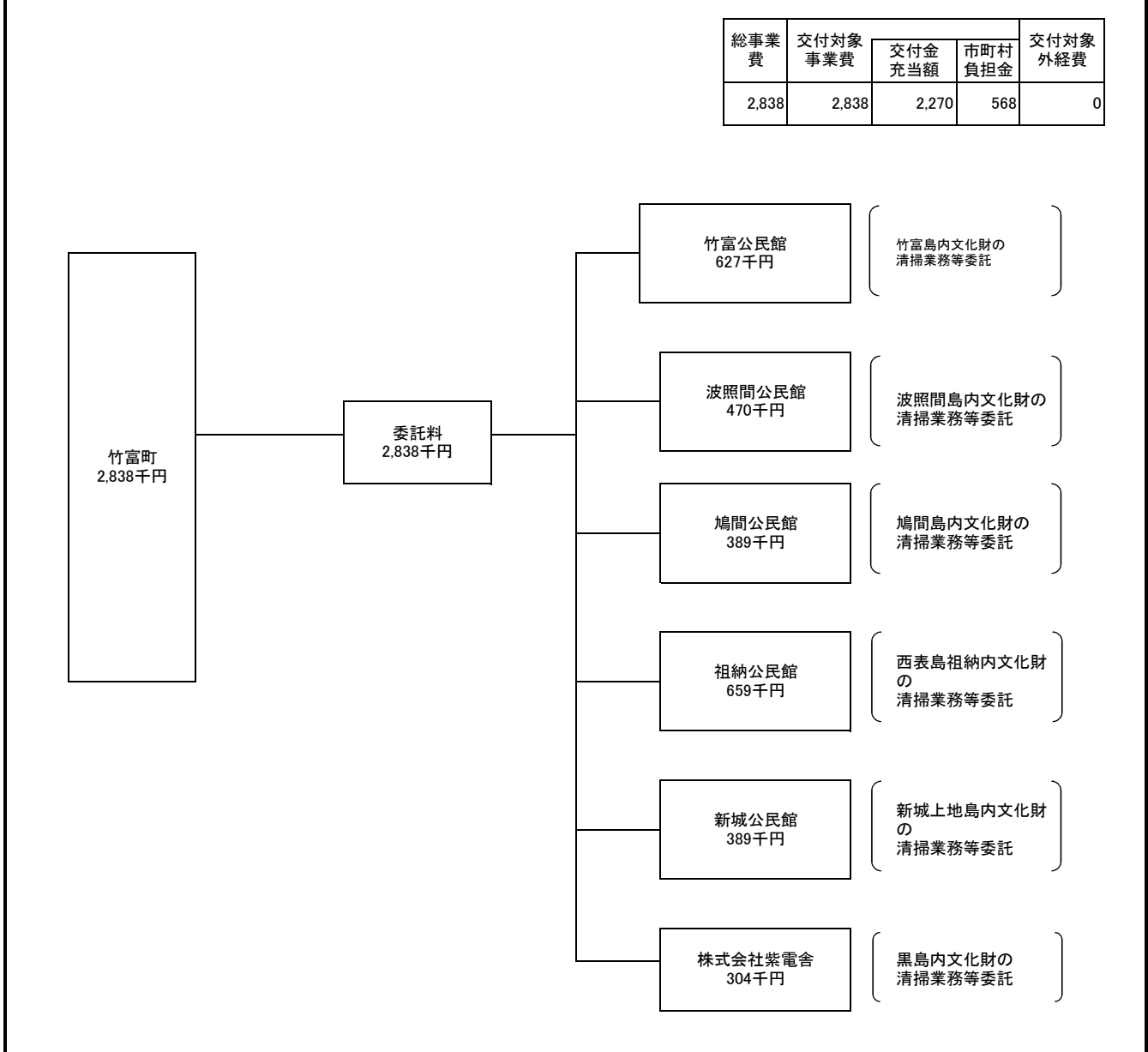


資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者は各地区肉用牛生産組合で勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、予想を下回る規模となったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。 受益者は導入費用の2分の1を負担しており、妥当である。 費目・使途については生産段階で検査を実施しており、適正だと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 社会文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として活用し地域の文化振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b)予算現額	2,930	2,800	2,800	3,190	3,260
		(c)増減額(b-a)	2,694	2,800	2,800	3,190	2,838
		(d)繰越額	▲236	0	0	0	▲422
		A.計(b+d)	2,694	2,800	2,800	3,190	2,838
	B.執行済額		2694	2799	2788	3,189	2,838
	うち交付金充当額		2154	2239	2230	2,551	2,270
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明		コロナ禍により公民館役員や作業員の人員が減った為、予算の減額を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	指定文化財16箇所、指定候補文化財7箇所の美化保全清掃を実施		目標 (14箇所)	(16箇所)	(23箇所)	(23箇所)	
			実績	24箇所	24箇所	26箇所	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		竹富地区(9箇所・年34回、作業員6名)、祖納地区(6箇所・年4回、作業員22名)、波照間(3箇所、年7回、作業員12名)、鳩間地区(3箇所・年13回、作業員30名)、新城地区(4箇所、年8回、作業員10名)、黒島地区(1箇所、年2回、高所作業のため専門業者へ委託)において各指定文化財及び指定文化財候補の美化保全清掃を当初の計画どおり実施することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方を検証する。		目標 ()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		77.10%	新型コロナウイルス感染症のため実施できず	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		観光客や地域住民へのアンケート調査は新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかったが、緊急事態宣言等の解除後、感染状況を見ながらアンケート調査を実施していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標の80%を以上を目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言により、アンケートの実施が出来なかった。	竹富町教育委員会ホームページと広報誌を活用し文化財のPR及び美化保全の取り組みを周知する。アンケートに関して新型コロナウイルス感染症の対策(アルコール消毒、マスク着用、対面ではなくアンケート配布後、回収など)を実施しアンケートを行う。
今後の取り組み方針		
新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、感染状況が落ち着いた時期にアンケート調査を実施する。本町教育委員会ホームページへの美化保全の周知と美化保全清掃後の観光振興を併せて図る。新型コロナウイルス感染症の終息後の観光需要に備え美化保全を継続的に実施していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、計画どおり地域の公民館に委託。文化財への愛護意識の高揚を図るという観点と地域密着での美化保存は妥当と考える。 ○観光資源及び地域の貴重な文化財保全のため必要な事業内容であり予算規模も適正である。 ○事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認後、適切に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町
------	-----

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-③	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア
担当部署名	世界遺産推進室	事業実施(予定)年度	平成24~令和4年度	生物多様性の保全
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容
 本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録の重要なキーポイントとなるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命の体制を構築し、世界自然遺産登録候補地となっている国立公園、西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(a) 当初予算額	8,574	8,574	8,574	12,173
(b) 予算現額	8,574	8,574	8,574	12,397	10,952	
(c) 増減額(b-a)	0	0	0	224	▲1	
(d) 繰越額						
A. 計(b+d)	8,574	8,574	8,574	12,397	10,952	
B. 執行済額	8,574	8,574	8,574	12,397	10,952	
うち交付金充当額	6,859	6,859	6,859	9,917	8,762	
次年度繰越額						
執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の事業計画の予算額のとおり執行した。					

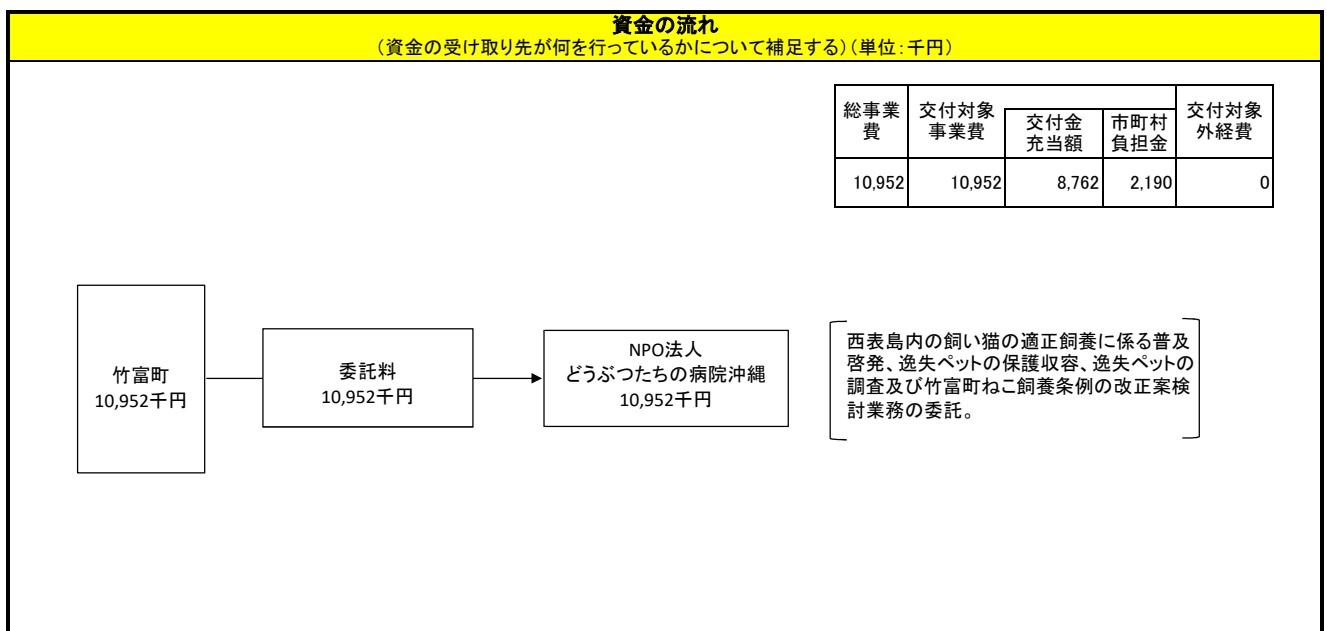
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)
	実績	実施	実施	実施	実施
保護収容個体及び新規登録個体のウイルス検査の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)
	実績	実施	実施	実施	実施
適正飼養普及啓発講演会等の実施	目標	(実施)	(実施)	(講演会4回開催)	(講演会4回開催)
	実績	実施	実施	講演会4回開催	代替手段で実施
ペット適正飼養推進会議の開催	目標	(実施)	(実施)	(会議1回開催)	(会議1回開催)
	実績	実施	実施	会議1回開催	会議1回開催
逸失ペットの生息状況確認のための調査実施	目標	()	()	(実施)	(実施)
	実績			実施	実施
竹富町ねこ飼養条例改正に向けた検討会の開催	目標	()	()	(検討会2回開催)	(検討会2回開催)
	実績			検討会2回開催	検討会4回開催

達成状況説明
 ・住民からの情報をもとにノラネコの保護収容を実施した。
 ・保護収容した個体で所有者の判明しないネコについては、西表島に派遣在駐する獣医師によりウイルスの検査や繁殖制限措置を施した後に西表島外に搬出した。
 ・普及啓発事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による当初計画していた講演会・講習会が実施できず、代替する普及啓発の取組として飼い主への個別指導の強化やチラシの配布という形で実施した。
 ・ペット適正飼養推進会議を開催し、関係機関で今後の対策について検討した。
 ・自動撮影カメラを用いたノラネコの生息状況の確認調査を実施した。
 ・ペットの適正飼養を推進、強化するため、竹富町ねこ飼養条例の改正案を検討した。本条例は竹富町12月議会で可決され、令和3年4月から施行される。

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)	
	逸失ペット保護収容個数15頭以内 (保護頭数)	目標	()	(23頭以内)	(18頭以内)	(8頭以内)	()	
		実績	/	4頭	5頭	1頭	/	
	逸失ペット、飼い猫におけるネコエイズ、ネコ白血病の新たな感染を抑える (感染個体数)	目標	()	()	()	(0頭以内)	()	
		実績	/	/	/	0頭	/	
	講習会・講演会の参加者延べ150人 (参加者)	目標	()	()	()	(150人)	()	
		実績	/	/	/	90人	/	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 逸失ペットの保護収容数は年々減少させており、0に近づきつつある。 保護収容個体でウイルス検査を実施した結果、ネコ白血病やネコ免疫不全等の感染症は確認されなかった。イリオモテヤマネコの方にも現在までペット由来の感染症は発生していない。 普及啓発事業では、新型コロナ感染症の影響で講演会・講習会の実施が困難となったため、猫の集合診療時にチラシやポスターを用いた普及啓発をのべ90名に対して行ったり、パネル展示、学校現場との意見交換等を実施した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(逸失ペットの保護収容) ・飼い主不明の逸失ペット(ノラネコ)の保護収容数は確実に減少している。自動撮影カメラを用いた生息状況調査で撮影された猫は、ほとんどが飼い主がいる猫の可能性が高い。 (感染症の抑制) ・西表島においては感染症に発生について非常に良好な状況を維持しているが、石垣島は非常に危険な状況に置かれているので、感染症の流入を警戒する必要がある。 (普及啓発) ・本年度は新型コロナ感染症の影響により講演会・講習会で人を集める事ができなかったため、別の手段を検討した。	(逸失ペットの保護収容) ・自動撮影カメラで飼い猫が撮影されないよう、屋内飼養を徹底するよう飼い主への指導を徹底する必要がある。 (感染症の抑制) ・西表島に新たな感染個体が流入しないよう、水際対策が重要と考えられる。 (普及啓発) ・講演会・講習会に代わる普及啓発の手段として、WEB上で展開するSNS等、様々な普及啓発方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針	
(逸失ペットの保護収容) ・逸失ペット(ノラネコ) "0"を確実にするため、所有者不明猫に関する情報収集を継続するとともに、屋内飼養の徹底を図る。 (感染症の抑制) ・新たな感染個体が流入しないよう、令和3年度からスタートした改正竹富町猫飼養条例では観光客等による一時的な猫の持ち込みを禁止としたため、島の観光事業者や交通関係に向けて情報を発信し、協力を呼び掛ける。 (普及啓発) ・竹富町のHP、公式youtube、公式LINE、NPO法人が関係するSNS等、効果的な普及啓発の手段を検討しながら実施していく。	



資金の流れ点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は随意契約であったが、業務に関する実績や知識、実施体制を勘案しており、選定方法については妥当であったと考える。 ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費目、使途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	